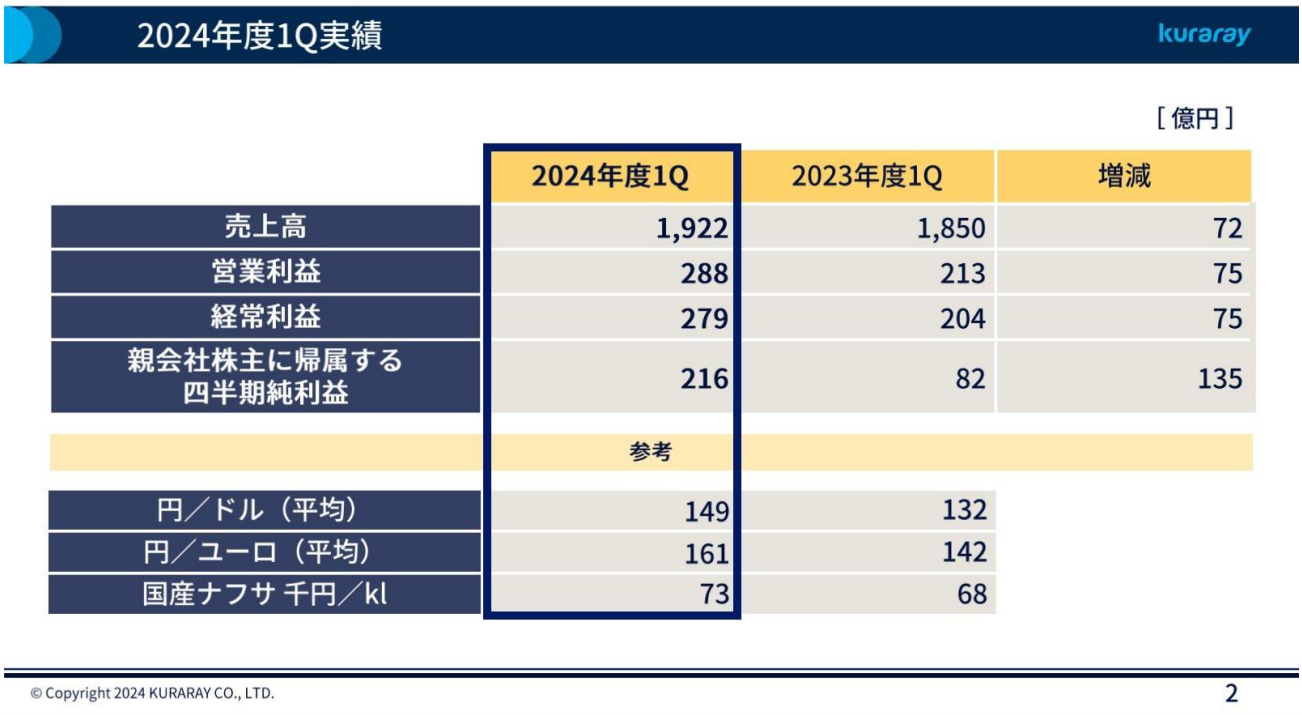
株式会社クラレ

2024 年度第 1 四半期決算説明会

説明者

代表取締役・専務執行役員 経営企画室担当　　多賀　敬治

2024 年 5 月 14 日



多賀：皆さんこんにちは、多賀でございます。本日はお忙しいところ、当社のカンファレンスコールにご参加いただきましてありがとうございます。それでは、2024 年度第 1 四半期の決算説明を始めさせていただきます。

2024 年度第 1 四半期は、米国は底堅い個人消費により堅調に推移しましたものの、欧州と中国の景気低迷が継続し、全体としては緩やかな成長にとどまりました。その結果、スライドでお示ししておりますように、売上高は前年同期比 72 億円増の 1,922 億円、営業利益は 75 億円増の 288 億円、当期純利益は 135 億円増の 216 億円となりました。

為替および原燃料の実績は、資料にお示してあるとおりでございます。

セグメント別 売上高・営業利益

［億円］

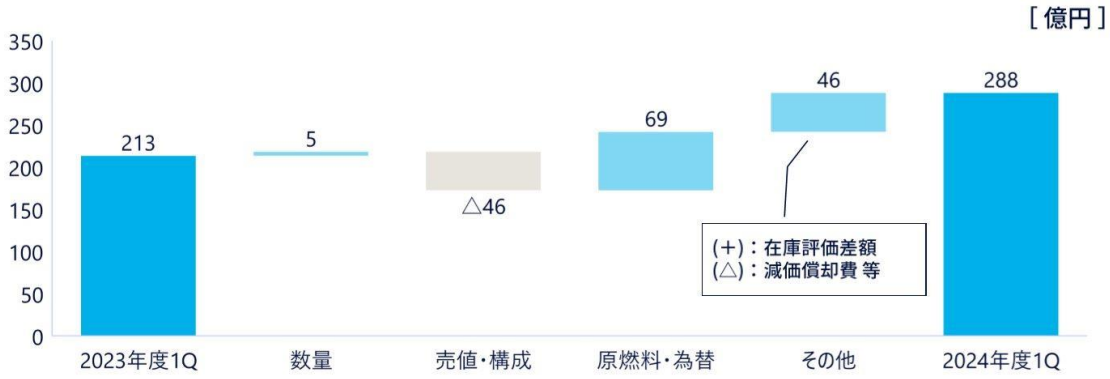
	2024年度1Q		2023年度1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	990	248	978	178	12	70
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	172	0	158	2	14	△2
機能材料	487	32	454	35	34	△3
繊維	138	△2	135	2	3	△5
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	153	13	138	11	15	2
その他	117	4	113	1	4	4
調整額	△136	△8	△127	△16	△9	9
合計	1,922	288	1,850	213	72	75

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

このスライドは、各セグメントの売上高および営業利益の実績を前年同期との比較で示しています。

ビニルアセテートは大幅な増益となりましたが、それ以外のセグメントは微増益または微減益となりました。

営業利益増減分析



	2023年度1Q	2024年度1Q
円／ドル（平均）	132	149
円／ユーロ（平均）	142	161
国産ナフサ 千円／kl	68	73

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

このスライドでは、営業利益の増減要因の全社まとめをお示ししております。

数量は、景気は緩やかな成長にとどまったことにより、5 億円の増益要因となっています。売値・構成は、原燃料価格の推移に合わせた価格調整の影響で、46 億円の減益要因となりました。一方で、原燃料・為替は、原燃料価格の下落と為替が円安に振れた影響で、69 億円の増益要因となりました。その他は、昨年あった在庫評価差額による利益の押し下げが今年はなくなった一方で、減価償却費や経費が増加したことにより、合計では 46 億円の増益要因となりました。

ビニルアセテートセグメントの概要

［億円］

	2023年度1Q	2024年度1Q	増減
売上高	978	990	12
営業利益	178	248	70

【営業利益増減分析】



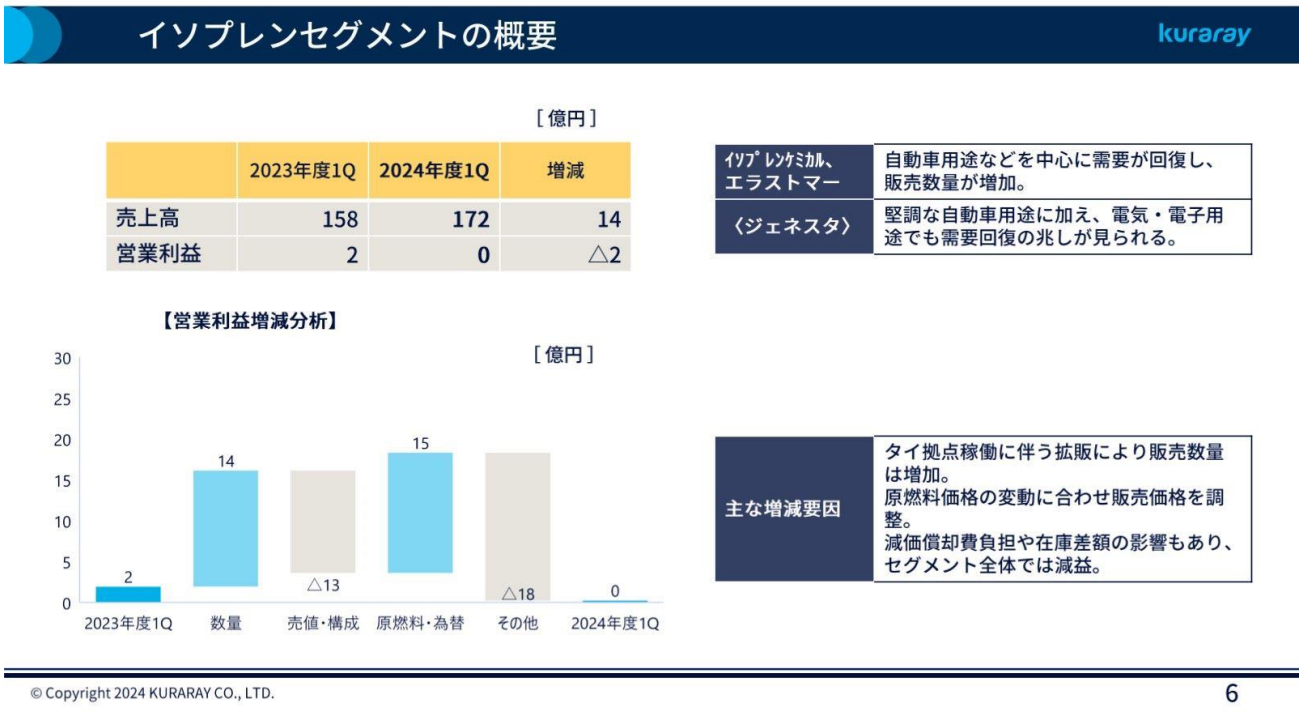
ポバール樹脂	欧州向け物流が混乱する中、グローバルな安定供給体制を背景に、販売数量が増加。
光学用ポバールフィルム	前年の在庫調整の影響が解消し、販売数量が増加。
水溶性ポバールフィルム	欧州で長引く景気低迷の影響を受け、販売数量が減少。
高機能中間膜	欧州の建築用途で景気低迷の影響を受け、販売数量が減少。
〈エバール〉	自動車用途は堅調に推移したものの、食品包装用途は昨年後半から続く需要の落ち込みの影響を受け、販売数量が減少。 シンガポールでの新プラントの建設（2026年末稼働予定）を決定。
主な増減要因	原燃料価格の変動に合わせ販売価格を調整。 昨年大きな減益要因であった在庫評価差額の影響が無くなり、セグメント全体では大幅な増益。

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

ここからは、セグメント別に事業の状況を説明いたします。

最初は、ビニルアセテートセグメントです。当セグメントは、前年対比で増収増益となりました。各事業の販売の状況は、右上に記載のコメントをご覧ください。

営業利益は、前年同期比で 70 億円増加いたしました。数量は、水溶性ポバールフィルム、高機能中間膜、エバールなどの販売数量が減少した影響により、9 億円の減益要因となりました。原燃料価格の推移に合わせた価格調整や販売構成などで、売値・構成は 27 億円の減益要因となりました。原燃料・為替は 41 億円の増益要因となりました。また、昨年あった在庫評価差額による利益の押し下げが今年はなくなり、その他は 65 億円の増益要因となりました。以上のことから、セグメント全体では増益を確保しました。



イソプレンセグメントです。

当セグメントは、前年対比で増収微減益となりました。各事業の販売の状況は、記載のコメントをご覧ください。

数量は、タイ拠点稼働に伴う拡販などにより販売数量が増え、14 億円の増益要因となりました。原燃料価格の推移に合わせた価格改定、販売構成の変化により、売値・構成は 13 億円の減益要因となりました。原燃料・為替は、原燃料価格の下落および円安により 15 億円の増益要因となりました。一方で、タイ拠点の減価償却費負担の増加や在庫評価差額の影響などにより、その他は 18 億円の減益要因となりました。

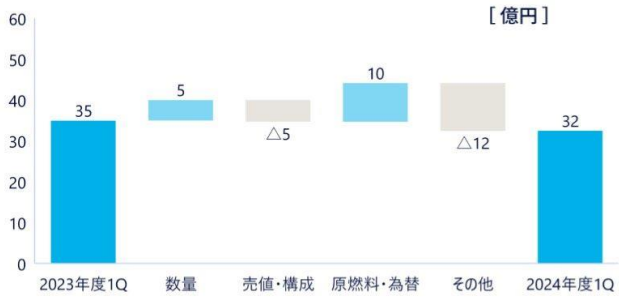
イソプレンケミカル、エラストマーでは販売数量が増え、ジェネスタも主用途である電気・電子用途で需要回復の兆しが見えてきています。第 2 四半期以降も、一層の販売拡大を図ってまいります。

機能材料セグメントの概要

［億円］

	2023年度1Q	2024年度1Q	増減
売上高	454	487	34
営業利益	35	32	△3

【営業利益増減分析】



メタアクリル	電気・電子用途を中心に需要の回復が見られ、販売数量が増加。
メディカル	審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移。
環境ソリューション	北米の飲料水用途を中心に、活性炭の販売が堅調に推移。米国の活性炭新設備は当第１四半期に稼働を開始。

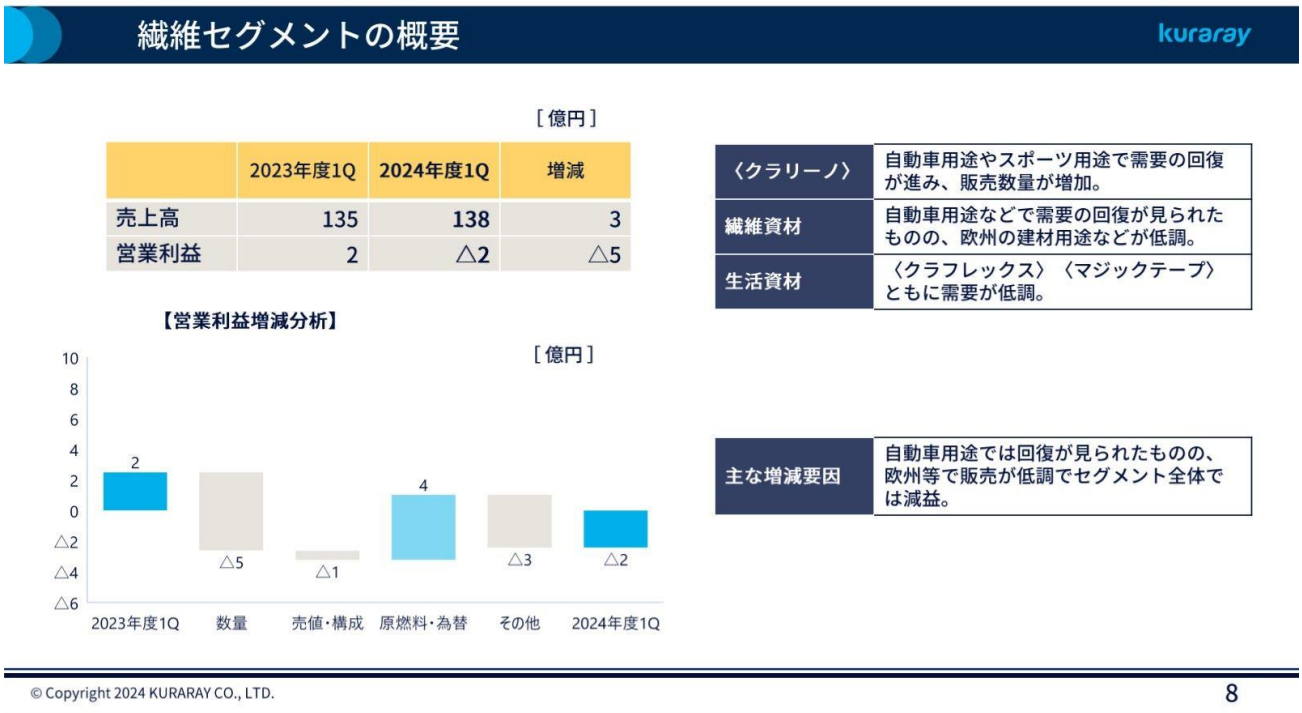
主な増減要因	メディカルでは販売数量が増加。活性炭の減価償却費やメディカルの販売費など、経費の増加により減益。

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

機能材料セグメントは、前年同期比で増収微減益となりました。

各事業の販売の状況は、記載のコメントのとおりです。

原燃料・為替は、10 億円の増益要因になりました。その他は、減価償却費や経費の増加などにより、12 億円の減益要因となりました。いずれの事業も販売数量は増えましたが、特にメディカルが好調に推移しました。また、環境ソリューションの米国活性炭新設備稼働に伴う減価償却費の増加、およびメディカルで拡販のための経費の増加があり、セグメント全体では微減益となりました。



繊維セグメントは、前年同期比で増収減益となりました。

各事業の販売の状況は、コメントのとおりです。

数量は、主に欧州での販売が低調で 5 億円の減益要因となりました。原燃料・為替は、原燃料価格が落ち着いたことおよび為替が円安に進んだことにより、4 億円の増益要因となりました。自動車用途では回復が見られたものの、欧州などで販売が低調でした。3 事業いずれも減益となり、セグメント全体の営業利益は 5 億円の減益となりました。

貸借対照表①(資産の部)

kuraray

［億円］

	2024年3月末	2023年12月末	増減
流動資産	5,718	5,517	201
固定資産	7,212	7,028	185
資産合計	12,930	12,545	386

	2024年3月末	2023年12月末
円／ドル（期末）	151	142
円／ユーロ（期末）	163	157

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

このスライドでは、貸借対照表の資産の部を昨年末と比較しております。

流動資産は、201 億円の増加となりました。これは主に為替や定期修理前の在庫積み増しの影響で、棚卸資産が 295 億円増加したことによるものです。また、固定資産は 185 億円の増加となりました。これは主に為替が円安になったことによる影響です。

貸借対照表②(負債と純資産の部)

kuraray

［億円］

	2024年3月末	2023年12月末	増減
流動負債	1,983	2,006	△22
固定負債	3,141	3,178	△37
負債合計	5,125	5,183	△59
純資産合計	7,806	7,362	444
負債・純資産合計	12,930	12,545	386
自己資本比率	59.0%	56.9%	2.0%

	2024年3月末	2023年12月末
円／ドル（期末）	151	142
円／ユーロ（期末）	163	157

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

このスライドでは、貸借対照表の負債、純資産の部を示しております。

負債は、借入金の返済などにより 59 億円の減少となりました。純資産は、為替換算調整勘定が 334 億円増えた影響などにより、444 億円の増加となりました。その結果、自己資本比率は 2%増の 59%となりました。

2024年度 業績予想（期初予想との比較）

［億円］

	2024年度今回修正予想			2024年度期初予想			増減		
	上期	下期 (期初予想)	通期※	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,100	4,300	8,400	4,000	4,300	8,300	100	0	100
営業利益	420	430	850	400	430	830	20	0	20
経常利益	390	400	790	370	400	770	20	0	20
親会社株主に帰属する当期純利益	250	240	490	230	240	470	20	0	20
＜参考＞									
円／ドル（平均）	150			145					
円／ユーロ（平均）	160			160					
国産ナフサ 千円／kl	74			75					

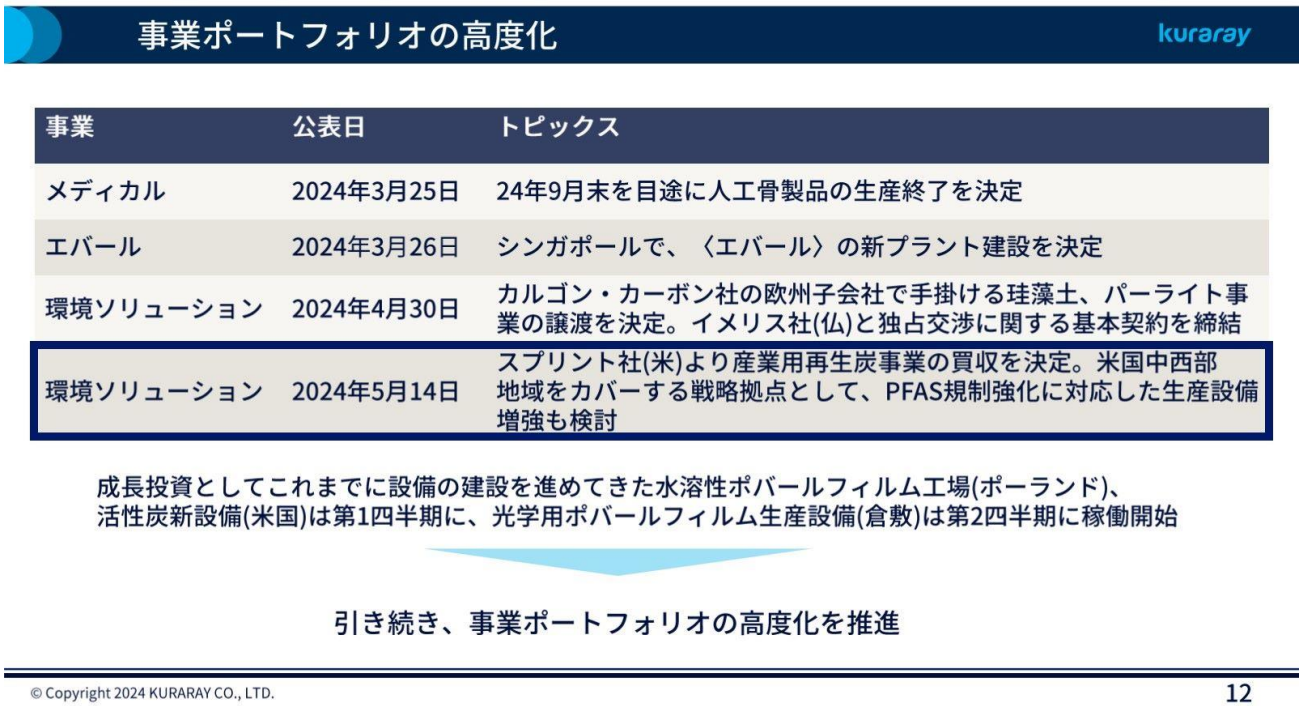
※今回修正予想の通期は、修正した上期予想に2024年2月発表の下期予想を合算したもの

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

11

このスライドでは、今回修正しました 2024 年度の業績予想、2 月に公表した期初予想との対比でお示ししています。

第 1 四半期の業績および足元の事業動向を踏まえ、上期の業績予想は、売上高は期初予想に比べ 100 億円増の 4,100 億円、営業利益は 20 億円増の 420 億円、当期純利益は 20 億円増の 250 億円に修正いたします。なお、下期の業績予想につきましては現時点では見直しをしておらず、第 2 四半期の業績確定時に必要に応じて見直しを行う予定です。

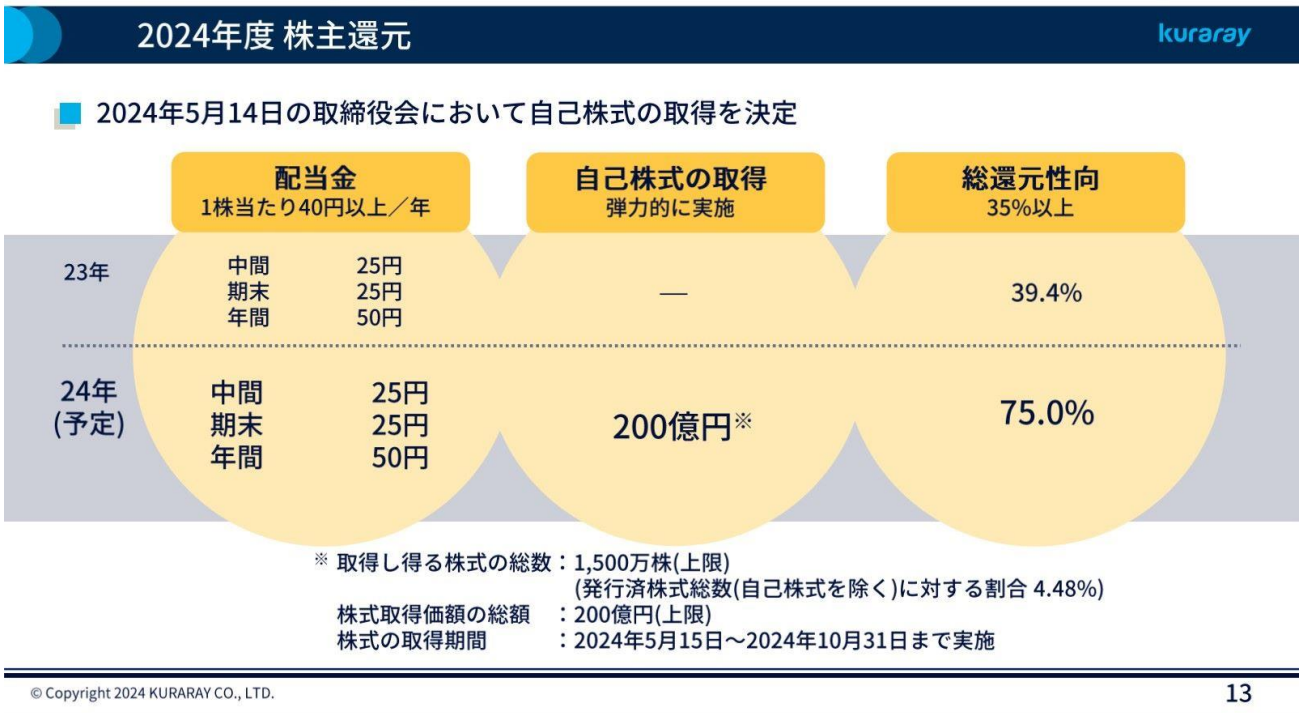


このスライドでは、本年度、これまでに決定、実施したポートフォリオ高度化の進捗についてお示ししています。

本日はこの中で、環境ソリューションの施策についてご説明します。まず、4 月 30 日に公表しましたとおり、カルゴン・カーボン社の欧州子会社で手掛けている珪藻土、パーライト事業の譲渡を決定し、ろ過助剤世界最大手のイメリス社と事業売却に関する基本契約を締結しました。

この事業は、カルゴン・カーボン社が 2016 年に欧州の活性炭事業を買収した際に一緒に買い取ったものです。鉱山から採掘した鉱物資源を原料とする製品であり、活性炭事業とのシナジーも小さく、必ずしも当社グループの強みを活かせる事業ではありませんでした。そのため、ベストオーナーの観点から売却を決定したものになります。

また、本日公表させていただきましたが、米国スプリント社からの活性炭再生事業の買収を決定しました。米国の産業用再生炭事業は、今後大きな伸長を見込んでおります。また、カルゴン・カーボン社の再生炭の生産拠点は米国の東部に集中しておりましたが、今回買収により手に入れる事業は、メキシコ湾岸地域に位置しており、米国の中西部地域をカバーする重要な戦略拠点となります。加えて当地において、PFAS 規制の強化で需要拡大が期待される飲料水用再生炭の設備増強も視野に入れており、今後の活性炭事業成長のための重要な拠点となります。



これも本日公表しましたとおり、200 億円、1,500 万株を上限として自己株式の取得を実施します。当社は、株主に対する利益配分を経営の重要課題の一つとして位置づけており、中期経営計画「PASSION 2026」では、総還元性向 35%以上、かつ 1 株につき年間配当金 40 円以上を基本方針とし、収益拡大を通じた株主還元の充実を図ることとしています。

2024 年度は、中間、期末それぞれ 1 株当たり 25 円の配当を予定しており、それに自己株式の取得を加えますと、総還元性向は 75%となります。当社は一層の資本効率向上に向けて、事業ポートフォリオの高度化をはじめ各施策を推進しております。それに加えて、株主還元についても今後さらなる充実を図ってまいります。

【参考】 2024年度 業績予想（前年実績との比較）

kuraray

［億円］

	2024年度今回修正予想			2023年度			増減		
	上期	下期 (期初予想)	通期※	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,100	4,300	8,400	3,810	3,999	7,809	290	301	591
営業利益	420	430	850	410	345	755	10	85	95
経常利益	390	400	790	385	305	690	5	95	100
親会社株主に帰属する当期純利益	250	240	490	218	206	424	32	34	66
＜参考＞									
円／ドル（平均）	150			135		141			
円／ユーロ（平均）	160			146		152			
国産ナフサ 千円／kl	74			68		68			

※今回修正予想の通期は、修正した上期予想に2024年2月発表の下期予想を合算したもの

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

14

14 ページ目以降は、詳細な計数情報となります。参考までにご覧ください。

【参考】セグメント別 売上高・営業利益予想（期初予想との比較）

kuraray

［億円］

	今回修正予想				期初予想				増減			
	上期		通期※		上期		通期		上期		通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	2,090	430	4,220	850	2,030	420	4,160	840	60	10	60	10
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	360	△55	760	△85	360	△60	760	△90	0	5	0	5
機能材料	1,050	70	2,150	140	1,000	65	2,100	135	50	5	50	5
繊維	330	10	710	40	340	10	720	40	△10	0	△10	0
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	310	25	660	55	310	25	660	55	0	0	0	0
その他	210	10	430	20	210	10	430	20	0	0	0	0
調整額	△250	△70	△530	△170	△250	△70	△530	△170	0	0	0	0
合計	4,100	420	8,400	850	4,000	400	8,300	830	100	20	100	20

※今回修正予想の通期は、修正した上期予想に2024年2月発表の下期予想を合算したもの

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

15

【参考】セグメント別 売上高・営業利益予想（前年実績との比較）

kuraray

［億円］

	今回修正予想				前年実績				増減			
	上期		通期※		上期		通期		上期		通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	2,090	430	4,220	850	1,989	402	4,068	863	101	28	152	△13
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	360	△55	760	△85	318	△27	657	△109	42	△28	103	24
機能材料	1,050	70	2,150	140	934	57	1,898	103	116	13	252	37
繊維	330	10	710	40	302	7	619	18	28	3	91	22
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	310	25	660	55	290	23	616	52	20	2	44	3
その他	210	10	430	20	229	6	457	5	△19	4	△27	15
調整額	△250	△70	△530	△170	△251	△59	△504	△178	1	△11	△26	8
合計	4,100	420	8,400	850	3,810	410	7,809	755	290	10	591	95

※今回修正予想の通期は、修正した上期予想に2024年2月発表の下期予想を合算したもの

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

kuraray

［億円］

	2023年度					2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q(予想)	上期(予想)
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	978	1,011	1,039	1,040	4,068	990	1,100	2,090
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	158	160	150	188	657	172	188	360
機能材料	454	480	463	501	1,898	487	563	1,050
繊維	135	166	148	169	619	138	192	330
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	138	152	158	168	616	153	157	310
その他	113	115	111	117	457	117	93	210
調整額	△127	△124	△135	△118	△504	△136	△114	△250
合計	1,850	1,960	1,934	2,066	7,809	1,922	2,178	4,100

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

kuraray

［億円］

	2023年度					2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q(予想)	上期(予想)
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	178	224	235	226	863	248	182	430
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	2	△29	△14	△68	△109	0	△55	△55
機能材料	35	23	24	22	103	32	38	70
繊維	2	4	11	1	18	△2	12	10
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	11	12	14	14	52	13	12	25
その他	1	5	0	△1	5	4	6	10
調整額	△16	△42	△63	△56	△178	△8	△62	△70
合計	213	196	207	138	755	288	132	420

© Copyright 2024 KURARAY CO., LTD.

なお、参考情報で一点補足説明をさせていただきます。18 ページ目をご覧ください。

このスライドでは、四半期ごとの営業利益の推移をお示ししています。2024 年度第 1 四半期と第 2 四半期を比較しますと、288 億円から 132 億円と 156 億円の差がありますが、この内容について補足させていただきます。

まず、ビニルアセテートセグメントでは、66 億円の減益となっています。この主な要因は、第 2 四半期に予定している米国エバール工場での定期修理となります。第 2 四半期にまとまった修繕費が発生することに加え、第 1 四半期には定修前の在庫の積み上げがあったことから、大きな段差となっています。

次に、イソプレンセグメントですが、ここも 55 億円の減益となっています。こちらも主な要因は定期修理です。例年実施しております鹿島事業所の定修に加え、今年はタイ工場の定修も第 2 四半期に実施しております。

一番下の調整額につきましても、54 億円の減益要因となっています。主な要因は、グループ内取引に関わる未実現利益の消去額の変動によるもので、今年度は第 1 四半期の消去額が小さく、第 2 四半期に大きくなることによるものですが、上期トータルで見ますと前年と大きな差はありません。

以上で説明を終わります。ありがとうございました。